

84年ぶりに里帰り

伝金鶏山経塚遺物里帰り展

奥州藤原氏の造営した金鶏山経塚から出土した遺物が、奈良国立博物館から一時的に里帰りしました。

展示品は、お経を入れるための容器「銅鑄製経筒」と経筒を保護するための容器「陶製経筒外容器」の2点です。

今回の展示は、奈良国立博物館と平泉町がそれぞれ所蔵する考古遺物について貸借を行う「考古資料相互活用促進事業」によるものです。

金鶏山の発掘は昭和5年に東京の斎尾保雄氏によって行われました。斎尾氏の目的は、秀衡が山頂に埋めたと伝えられる「雌雄の金鶏」を探すためだったと言われていますが、結果的に貴重な経塚資料を発見しました。

金鶏山の出土品は、現在東京国立博物館、奈良国立博物館、毛越寺に分割して保管されています。

金鶏山に営まれた経塚と埋納された遺物は、奥州藤原氏のあつい信仰を物語っています。

展示場所…平泉文化遺産センター

展示期間…8月18日(月)まで



銅鑄製経筒



陶製経筒外容器

水道週間の一環として6月24日から30日まで、第56回水道週間児童作品展が役場で開催されました。この作品展は、平泉小学校と長島小学校、平泉の水道が一部利用されている一関市舞川の舞川小学校の児童を対象に行われたもので、3年生が「水」、6年生が「水道週間」と題した力作、合わせて162点が出展され、このうち30点が入賞しました。

3年生の部で特選を受賞した三浦なつきさん(長島小)は「最後の払いの部分のバランスを気をつけて書いた。特選をもらえてうれしい」と話し、6年生の部で受賞した千葉菜乃子さん(平泉小)は「始筆のところをきれいに書くように気をつけた。あこがれの先輩と同じ賞をもらえてうれしい」と感想を話していました。

入賞された皆さんは次の方々です。(敬称略)

【3年生の部】

- ▽特選 三浦なつき(長島)
- ▽金賞 藤原しずく(平泉) 菊地沙希(長島) 袖野菜々美(舞川)
- ▽銀賞 小野寺健心(平泉) 山平大成(長島) 佐藤玲風(舞川)
- ▽銅賞 千葉琳乃子(平泉) 千田亜美(長島) 千葉花愛(舞川)



6年生の部特選の千葉菜乃子さん



3年生の部特選の三浦なつきさん

- ▽努力賞 佐藤華音(平泉) 吉田遥奈(同) 菅原光哉(同) 岩瀬真帆(長島) 佐藤明日香(舞川)
- 【6年生の部】
- ▽特選 千葉菜乃子(平泉)
- ▽金賞 千葉詩音(平泉) 千葉菜奈(長島) 北朱莉(舞川)
- ▽銀賞 小野寺怜香(平泉) 千葉幸治(長島) 佐藤彩乃(舞川)
- ▽銅賞 山田華南斗(平泉) 高橋健(長島) 小野寺玲(舞川)
- ▽努力賞 千葉梓紗(平泉) 千葉菜央(同) 松本彩萌(同) 石川由稀(長島) 佐藤みな(舞川)

第56回水道週間児童作品展

入館者が30万人達成

平泉文化遺産センター

平泉文化遺産センターの入館者が7月17日、30万人を達成し記念式が行われました。

30万人目となったのは、東京都江東区の会社員山内一義さん。同センターの職員がおめでとうございましてと拍手で迎え、及川文化遺産センター所長より認定書の授与、菅原町長より記念品が贈呈されました。友人と共に来館した山内さんは「平泉に来たのは2回目。一生にあるかないかのこと」と驚きながらも、思わぬ祝福を喜んでいました。



30万人目の来館者となった山内さん(左)ら

国土交通行政関係功労者

朝田建設株式会社が東北整備局長表彰

朝田建設株式会社(朝田豪代表取締役社長)が、国土交通行政関係功労者の優良工事施工会社として国土交通省東北地方整備局長表彰を受賞し、7月23日に菅原町長のもとを訪れました。

同社では、平成25年度に東北地方整備局岩手河川国道事務所から受注した一関遊水地周囲堤下流地区改良工事について、品質を落とさずにコスト削減や工程短縮を図ったほか、現場広報を毎月1回発行し、工事の進捗状況などをお知らせし、地域住民に工事の見える化を図りました。



受賞を報告する朝田社長(左)ら



ごみ拾いをする施設利用者とスタッフの皆さん

感謝の気持ちを込めて

黄金荘の奉仕活動

6月26日、黄金荘(得田和明施設長)の利用者や職員による清掃活動が、同施設のある7区区内で行われました。

この活動は、地域との交流、地域に役立つ活動を目的に毎年行われています。

この日は施設利用者とスタッフ合わせて19人が2組に分かれて作業。日頃お世話になっている地域の人たちへの感謝の気持ちを込めて、ごみ拾いに汗を流していました。



提言書を提出する小野寺代表(左)ら

景観に関する提言書を提出

NPO法人みんなで作る平泉

NPO法人みんなで作る平泉の小野寺代表ら3人が7月3日、菅原町長を訪れ、景観に関する提言書を提出しました。同法人では、町内事業所に景観アンケート調査を行い、407枚を回収し、その結果を反映して提言書を作成しました。内容は、アンケートの反映、景観に関する意識醸成、景観形成のための仕組みづくりの3点です。町としては、この提言に沿い、さらにより良い景観づくりに努めてまいります。